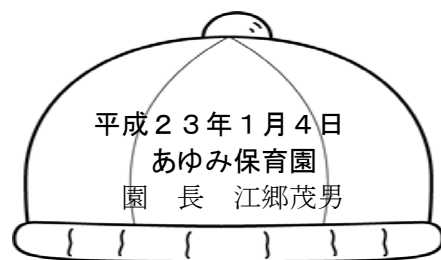
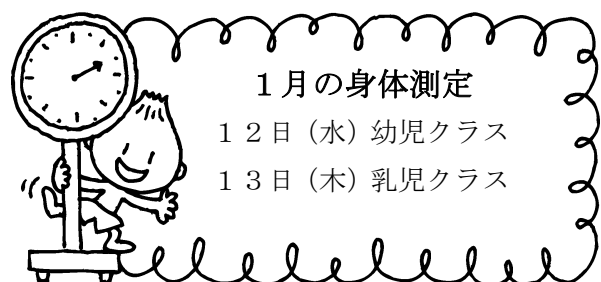




ほけんだより



明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願いいたします。年末年始のお休みはいかがでしたか？ご家族でゆっくり楽しい時間を過ごせたのではないのでしょうか。12月はあゆみ保育園では感染性胃腸炎と咽頭結膜熱（アデノウイルス）が乳児クラスを中心に流行し多くのお子様が欠席されました。朝夕の寒さも一段と厳しくなってきましたが、体調管理に気をつけて今年一年元気に過ごすことが出来るよう頑張っていきましょう。



1月の身体測定

12日（水）幼児クラス
13日（木）乳児クラス

<12月の感染症>

RSウイルス 1名
感染性胃腸炎 20名
咽頭結膜熱（アデノウイルス）6名
伝染性赤斑 1名

《咽頭結膜熱＝プール熱（アデノウイルス）について》

12月は乳児クラスを中心にアデノウイルスが流行しましたが、一体どのようなウイルスなのでしょう…？

人に感染するアデノウイルスは現在49種類が知られています。多くのアデノウイルスは、潜伏期は5～7日で、感染経路は飛沫、接触感染によるものです。

免疫がつきにくく、また、亜種多様の為、何回もかかる場合があります。

<咽頭結膜熱>…主として3・4・7・11型によるもの。39～40度の高熱が出て、扁桃腺が腫れ、のどの痛みを伴う。両目または片目が真っ赤に充血し、目やにが出る。夏にプールを介して流行することがあるため、プール熱とも呼ばれているが、プールに入らなくても飛沫感染などで感染する。

<流行性角結膜炎>…主として8・19・37型による。いわゆる「はやり目」。

流涙、結膜充血、目やにの症状が出る。

《自宅でできる嘔吐物の処理方法》

現在、全国的にノロウイルスをはじめとする感染性胃腸炎が大流行しています。ご自宅でお子様が嘔吐したというご家庭もあるのではないのでしょうか。家庭内での感染拡大を防ぐために、嘔吐物の処理方法について学びましょう。

【用意するもの】

ビニール手袋（使い捨て）、マスク、ペーパータオル（なければ新聞紙や布）、ビニール袋数枚、ハイター（塩素系漂白剤）、バケツ

① 換気のために窓を開ける。子供など近づかないように指示する。



② 手袋とマスクを装着する。



③ 嘔吐物は乾燥する前に、外側から内側に向けて折り曲げながら静かに拭きとる。



④ 使用後のペーパータオルはビニール袋に入れ、すぐに封をする。（このとき、ハイターを一緒に入れると消毒できるので効果的）



⑤ 嘔吐物の付着していた床面などは、周囲も含めてやや広めに、ハイターを染み込ませたペーパータオルで覆うか浸すように拭く。（金属は錆びるので、塩素で拭いたら10分後に水拭きする）



⑥ 手袋をはずして、ビニール袋に入れる。ビニール袋は封をして処分する。



⑦ 最後に石鹸と流水でよく手を洗って終了。



<ポイント>

- 自分の衣類や袖口などに嘔吐物が付いていないか確認しましょう。
- 嘔吐物を処理した後48時間は感染の有無に注意して下さい。
- じゅうたんや色落ちなどで塩素が使えない場合は、できるだけ高温（85度以上）のスチームアイロンで1分以上加熱してください。使用したアイロンはハイターで拭いて下さい。

「ハイター（有効塩素濃度5%）の希釈方法」

濃度	0.1%（1000ppm） （50倍液）
水の量	
1 リットル	50 ml（キャップ約2杯）

～お願い～

お子様が、「下痢・嘔吐」の症状がある時や園のしおりに記載されている「感染症」に感染した時は、必ず園にお知らせください。宜しくお願い申し上げます。